



CFTC建玉報告:NY金(5月11日時点)

米商品先物取引委員会(CFTC)が14日に発表した建玉報告によると、11日時点のニューヨーク商品取引所(COMEX)金先物市場の大口投機筋(非商業部門)の買越幅は19万2255枚となり、前週比2万1514枚拡大。期間中に、投機筋は買いポジションを増やし、売りポジションを減らした。

期間中のNY金は上伸。4月の米雇用統計が発表され、非農業部門就業者数が前月比26万6000人増と市場予想を大きく下回り、失業率も6.1%と0.1ポイント悪化したことが伝わると、米連邦準備制度理事会(FRB)による金融緩和策の早期縮小観測が後退。米長期金利の指標となる10年債利回りが低下。対主要国通貨でのドル安が進行し、ドル建てNY金は割安感からの買いも入り上伸した。

米FRB当局者らは現在のインフレは一過性のものとの見方を表明。クリーブランド地区連銀のマスター総裁が、年末時点のインフレ率は2%を超えるものの、供給網の問題解消を受け来年は低下するとの見方を表明。フィラデルフィア地区連銀のハーカー総裁は、公衆衛生上の懸念と不十分な子育て支援のほか、産業部門ごとに回復が一様でないことが米労働市場の緩慢な回復の背景にあるとし、FRBは景気支援を継続する必要があるとの考えを示した。しかし、市場ではインフレ進行と通貨価値の下落への警戒感が根強く、金相場を押し上げた。なお、期間後の12日に発表された米消費者物価指数(CPI)は、4月の総合指数が前年比プラス4.2%上昇と2008年9月以来、12年7カ月ぶりの大幅な伸びを示し、市場のインフレ見通しを強める内容となった。

NY金	終値	買い越し幅	
01/12	1844.2	246,227	765.9
01/19	1840.2	246,638	767.1
01/26	1850.9	257,546	801.1
02/02	1833.4	257,126	799.8
02/09	1837.5	251,407	782.0
02/16	1799.0	234,969	730.8
02/23	1805.9	215,733	671.0
03/02	1733.6	189,638	589.8
03/09	1716.9	175,163	544.8
03/16	1730.9	180,196	560.5
03/23	1725.1	174,067	541.4
03/30	1686.0	167,528	521.1
04/06	1743.0	189,509	589.4
04/13	1747.6	180,874	562.6
04/20	1778.4	181,498	564.5
04/27	1778.8	170,619	530.7
05/04	1776.0	170,741	531.1
05/11	1836.1	192,255	598.0
前週比	+60.1	+21,514	+66.9

